

平成29年4月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成29年4月21日（金）午後3時00分
- 2 閉 会 平成29年4月21日（金）午後4時30分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 報告事項
- 5 そ の 他
次回教育委員会定例会の開催日時について
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	委 員 長	里 見 俊 實
	2番	委員長職務代行者	井 口 徹
	3番	委 員	石 井 ひろ美
	4番	委 員	浦 崎 秀 一
	5番	委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教育企画部長	西 本 則 彦
		こども未来部長	椎 木 栄 作
		こども未来部参与	岩 崎 恵
		教育政策課長	降 松 俊 基
		教育環境整備課長	安 福 亮 博
		文化スポーツ振興課長	高 嶋 信 行
		図書館長	伊 藤 真 紀
		学校教育課長	横 田 浩 一
		教育センター所長	大 東 豊
		就学前教育・保育課長	正 心 均
	子育て支援課長	井 上 典 子	

教育政策課主査 能出 真一
教育政策課主任 橋本 祥子

傍聴者 0人

1 開 会

委員長が、平成29年4月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、石井委員と浦崎委員を指名した。

3 会議録の承認

平成29年3月定例会（13日開催）及び平成29年3月臨時会（27日開催）の会議録について委員長が委員に諮ったところ、全員一致で承認された。

4 報告事項

(1) 被顕彰者の決定について

○横田学校教育課長が次のように報告した。

市立学校退職教職員に対し、退職辞令の交付に合わせ、3月31日に感謝状を贈呈した。対象は、校長5人、教頭1人、主幹教諭・教諭・学校主幹が10人であった。管理職を除く教職員は、三木市で30年以上勤務した者が対象である。

また、三木市連合PTAの会長、副会長として平成28年度で退任され、基準年数以上務めていただいた3人の方に対して、感謝状を贈呈する。

○大東教育センター長が次のように報告した。

青少年補導委員として平成28年度で退任され、基準年数以上務めていただいて、青少年健全育成に貢献された1人の方に対して、三木市教育委員会顕彰規則の規定に基づき、感謝状を贈呈する。

(2) 青少年補導委員の委嘱について

○大東教育センター長が次のように報告した。

三木市青少年センター運営に関する規則の規定に基づき、自治会の推薦により6名、PTA役員14名、合計20人を青少年補導委員に委嘱した。改選理由は前任者退任のためである。委嘱期間は、前任者の残任期間である。

(井口委員長職務代行者) 自治会から推薦された方は、年齢層が高い印象であるが、今まで事故等は起こっていないか。

(大東教育センター所長) 青少年補導委員に年齢制限は設けていない。区長から推薦いただいた方に務めていただいており、今まで事故等の報告は受けていない。

(石井委員) 11班はPTA役員で構成されているが、今回の改選は女性の方ばかりである。青少年補導委員としての補導活動は昼夜あるはずだが、特に夜間に活動いただくことに問題はないのか。

(大東教育センター所長) 11班には、小学校16校のうち2校ずつ月に1回、昼間に活動いただいている。活動内容は、白ポスト(有害図書)の回収、学校周辺の巡回、量販店でのティッシュ配り等である。

(3) 教育環境整備課報告事項

○安福教育環境整備課長が次のように報告した。

認定こども園・保育所・学校等の施設整備について、3月末時点の進捗状況を報告する。よかわ認定こども園整備工事は完了した。志染保育所トイレ設備改修工事は進捗率50パーセントであり、現在仮設保育室のトイレ工事は完了し、今後既存棟の保育室のトイレ工事にかかる予定である。緑が丘東小学校エレベーター設置等工事

実施設計業務委託は進捗率30パーセントで、エレベーター及びスロープの工法の検討を行っており、今後は積算業務に移る。吉川中学校校舎トイレ改修工事実施設計・監理業務委託は進捗率40パーセントで、トイレ改修図面の作成が終了し、今後は積算業務に移る。三木小学校他3校屋内運動場非構造部材耐震化工事実施設計業務委託及び別所中学校他3校屋内運動場非構造部材耐震化工事実施設計業務委託はともに進捗率40パーセントで、対策図面を作成しており、今後積算業務に移る。

次に、3月臨時会において、幼稚園の給食費が減額となったことをPRし、保護者に理解してもらえるよう、口座振替の印字方法について検討するようご意見をいただいた件について、事務局においての検討結果を報告する。印字を変更することは、市の給食費徴収システムのソフトを変更する必要がある、費用が嵩むことと、主食費と副食費に分けて印字をすることは、銀行へ通知する職員の事務量の増加及び銀行に印字代が別途発生することから、できないとの結論に達した。保護者へは、平成29年1月に開催した幼稚園での口座振替の説明会において、減額になることはお伝えしているが、さらにPRするため、給食だよりや給食費徴収額決定通知書にその旨の記載をしている。

(浦崎委員) よかわ認定こども園整備工事が完了したが、保護者から各部屋の前の廊下が、雨の日は滑りやすいとの意見をいただいているが、事務局として認識されているか。

(西本教育企画部長) 昨年度に保護者から色々要望を聞き、整備工事に反映しているが、その件については認識していない。現場を確認し、必要に応じて対応する。

(里見委員長) 3月末時点で工事や業務委託が完了していないものがあるが、これは平成28年度の事業か。

(安福教育環境整備課長) 国の平成28年度の第二次補正予算を受け、前倒しして平成28年度の3月補正で予算化し、明許繰越したものである。

(里見委員長) 非構造部材とは、具体的に何か。

(安福教育環境整備課長) 体育館の天井から降りている照明などのことである。

(石井委員) 給食費の減額については、説明は十分されているが、誤解の無いようにしてもらいたい。

(里見委員長) 給食費には主食費と副食費があり、副食費を減額した分を市で負担するが、そのバランスが解しがたい。しかし、PRについてよく検討されたと感じる。

(椎木こども未来部長) 保育所においては、主食費として米代を毎月600円徴収し、副食費はそれぞれの措置費に含まれており、その考え方を踏襲したものである。

(4) 文化スポーツ振興課報告事項

○高嶋文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

みき歴史資料館のイベントとして、ワークショップ「市史編さん体験～古文書を触ろう～」を3月18日に開催し、参加者は25名であった。歴史ウォーク「秀吉本陣跡与呂木大手道整備記念ウォーク」を3月26日に開催し、参加者は28名であった。歴史講座①「絵図の修復について」を4月8日に開催し、参加者は24名であった。歴史ウォーク「法界寺山ノ上付城跡コース」は4月17日に開催予定であったが、雨天のため中止となった。その他として、みき演劇セミナー第二十一号 わがまちシリーズ第14弾「重棟」が3月19日に文化会館で上演され、入場者は671名であった。

今後の予定として、みき歴史資料館では、放映動画完成試写会を4月22日に開催する。堀光美術館では、別所公春まつり共催第19回アート・フェス公募展表彰式を5月5日に開催する。応募作品256点のうち入選、入賞は120点である。スポーツのイベントとして、スナッグゴルフ講習会を4月22日に、ふれあいスポーツデーを5月3日に、スナッグゴルフペア大会を5月13日に三木ホースランドパーク緑の広場で開催する。ジュニア陸上競技教室を5月12日に三木山総合公園陸上競技場で開催する。

(井口委員長職務代行者) 第19回アート・フェス公募展は応募者数が多く、美術館の事業として高く評価する。毎年市外の学校からも応募があるが、市内の学校からの応募状況はどうか。また、どのようにPRしているのか。

(高嶋文化スポーツ振興課長) 中学生は13名から応募があったが全て市外であった。PRについては、校内にポスターを掲示してもらっている。

(松本教育長) 全国から応募があり、徐々に浸透してきている印象である。中学生の応募者も年々増加している。

(西本教育企画部長) 昨年度までは1人につき何点でも応募可能であったが、今年度から1人1点までと限定したため、応募点数は減少したが、全体の参加者は増加傾向にある。

(浦崎委員) ジュニア陸上競技教室について詳細を問う。

(高嶋文化スポーツ振興課長) 指導者には三木RC(ランニングクラブ)に属されている方にご協力いただき、市内の小学3~6年生を対象に全10回開催し、主に長距離選手を育成する。毎年開催している教室で、人気を博している。

(石井委員) ふれあいスポーツデーの参加資格は、制限なしとあるが、小さな子どもがいる場合に連れて行ってもいいのか、実施種目によっては対象年齢があるのか等分かりにくいと感じる。

(高嶋文化スポーツ振興課長) 親子連れの参加も可能である。まずはご来場いただき、種目を見て参加していただきたい。

(西本教育企画部長) HPで案内を掲載している。参加資格の記載について検討する。

(5) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

実施事業として、岸田典大絵本パフォーマンスライブを吉川図書館で3月20日に開催し、参加者は52名であった。tupera tupera（ツペラツペラ）の世界で作ろう・遊ぼうを、図書館ともの会・三木主催で、中央図書館で4月16日に開催し、参加者は139名であった。参加者が作った作品は、5月7日に三木市文化会館で開催されるtupera tupera絵本ライブin三木で展示される。

今後の予定として、4月23日から5月12日までのこども読書週間に合わせ、DVD上映会を中央図書館で4月29日に開催する。また、人形劇の公演を吉川図書館で4月30日に、青山図書館で5月14日に開催する。

平成28年度の市内学校団体貸出実績は平成27年度と比較して、43パーセント増加した。申込窓口を中央図書館に一本化して、授業に必要な資料を全館から取り寄せるシステムを確立したことで利用しやすくなったこと、学校と地域間の連携が深くなったためであると考える。今後も学校との連携を図りながら、子ども達の読書推進活動に取り組んでいく。また、平成28年度の図書館の登録者数は、平成27年度と比較して、全館で5パーセント増加した。

(井口委員長職務代行者) 市内学校団体貸出実績が学校によっては0であったり、多数あったりと開きがあるが、研究課題等で利用されているということか。

(伊藤図書館長) そのとおりである。例えば、修学旅行前等になると貸出しが増加する。

(石井委員) 青山図書館は、予約・リクエスト、図書所蔵状況が年々増加しているが、個人貸出冊数が平成26年度から減少傾向にある。どのように分析されているか。

(伊藤図書館長) 青山図書館と中央図書館は距離的に近い場所にあり、中央図書館が出来てからは、利用者が移行してきている状況にある。

(里見委員長) 市民から書籍や資料の要望がある場合、どのように対

応しているのか。

(伊藤図書館長) 市民の声やリクエストをいただいたものは、司書で構成している選書の会において、収集基準に照らし合わせ、該当する場合は購入している。

(6) 学校教育課報告事項

○横田学校教育課長が次のように報告した。

第1回定例校園長会を4月14日に開催した。学校主要行事として、始業式が4月7日に行われた。入学式が中学校及び特別支援学校は4月10日、小学校は4月11日に行われた。今年度の新入生は、小学校565名、中学校653名、特別支援学校2名である。また、全国学力・学習状況調査が4月18日に実施された。

今後の予定として、第1回同和教育伝承講座を5月11日に開催する。また、広野小学校自然学校が5月15日から19日にかけて実施される。

(7) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業として、専門研修講座、教育相談、青少年悩みの相談、発達教育相談をご覧のとおり実施した。適応教室は現在3名在籍している。今後の予定として、第1回専門研修講座を5月25日に開催する。

青少年センターの事業では、ネット見守り隊パトロールにおいて、問題事案が1件あった。今後の予定として、大規模合同補導活動が4月25日に実施される。

(8) 就学前教育・保育課報告事項

○正心就学前教育・保育課長が次のように報告した。

保育所の入所式を4月5日に行った。公立幼稚園・認定こども園入園式を4月12日に行った。公立認定こども園・保育所長会及び第1回保育協会理事会を4月13日に開催した。今後の予定として、第2回保育協会理事会を5月8日に開催する。

次に、平成29年度の幼稚園・認定こども園・保育所入園児数・クラス数について報告する。幼稚園は5園で12クラス、227名。

昨年と比較して41名減となっている。別所認定こども園は7クラス、131名。昨年と比較して14名増となっている。よかわ認定こども園は今年度開設となり、7クラスの127名。昨年のよかわ幼稚園と吉川保育所の合計人数と比較すると23名増。公立保育所は2園で9クラス、143名。昨年と比較して18名減となっている。私立の認定こども園は12園で84クラス、1,619名。昨年よりも149名増となっている。

(浦崎委員) 当市の待機児童数について問う。

(正心就学前教育・保育課長) 平成29年4月1日現在で、37名である。

(浦崎委員) 解消の目途は立っているのか。

(正心就学前教育・保育課長) 小規模受入施設の6月開園、受入開始に向けて工事を進めている。工期が遅れているが、5月中には工事完了となる。

(椎木こども未来部長) 当市の待機児童は、希望する園に行きたいとお待ちいただいている人数であり、国の基準の待機児童は発生していない。

(里見委員長) 小規模保育施設は当初3月に完成予定であり、工事が遅れているが、実質的な待機児童数は0であること、私立の認定こども園等皆が協力的に調整いただいたことに感謝する。

(9) 子育て支援課報告事項

○井上子育て支援課長が次のように報告した。

アフタースクールは、事業所数13か所(直営2、委託11)で年度当初711名が利用している。平成28年度と比較し、低学年で67名増、高学年で7名増となっている。低学年の増加は、認定こども園の児童数が増えたことが要因と考えられる。また、平成28年度事業の、官民協働による「三木市子育て応援ハンドブック」が完成したのでお配りしている。

今後の予定として、にこにこまつりを吉川児童館を中心に、吉川総合公園で5月13日に開催する。児童センターにおいて、一時保育を5月16日から開始する。保育士を配置し、実施日は毎週火（午後1時から午後4時）・金（午前9時から正午）、定員は6名、利用料は1回あたり1,000円である。利用申込みは、一週間前から前日までで、電話、窓口等で先着順とする。

また、平成28年度から継続している事業である、多世代交流施設の愛称名を「みきっこランド」に決定したので報告する。これは、平成29年1月に実施した小学生ミーティングにおいて愛称を募集し、最終的に市で決定したものである。

（石井委員）一時預かり保育の利用料は、何を根拠に設定したのか。また、傷害保険等の加入状況について問う。

（井上子育て支援課長）他市の状況を調べると、概ね3時間1,000円でされていたことと、市内の認定こども園において一時預かりを半日で1,300円（1、2歳児は1,800円）でされていることから、1回あたり1,000円とした。また、市において、損害保険・賠償責任保険に加入している。

（石井委員）利用する場合は、子どもに必要なものは持込みする必要があるか。

（井上子育て支援課長）ベッドやタオルケット等是用意があるが、身に付けるものや食料品は持参いただく。

（里見委員長）実施日が限られている件について問う。

（井上子育て支援課長）児童センターでは、定期的に様々な事業を継続して行っている関係もあり、曜日を限定している。元々認定こども園において、一時保育は行われているので、当事業はその補完的な事業と考えている。

（里見委員長）アフタースクールを委託している所で、事故等があった場合の責任の所在について問う。

(井上子育て支援課長) アフタースクールの設置者及び実施主体は市であるため、責任は市にある。委託業者には、支援員の指導内容についての監督をお願いしている。

(里見委員長) 市と委託業者と保護者の関係も複雑化してきていると考える。アフタースクールで起きる問題は、学校の施設等を使用しているが、学校には全く関係が無い。問題の内容にもよるが、どのような対処の仕方をすべきか。

(椎木こども未来部長) 日頃の現場の状況把握、苦情等を情報共有し、起こり得る事故を未然に防止できるようスキルアップに努める。

(里見委員長) アフタースクールにおいて、学力向上や体力向上のための教育を行うことは可能であるか。

(井上子育て支援課長) 保護者が迎えに来られるまでの間、安全に充実した生活を送ることが目的であり、教育を行うことをしていない。子ども達には宿題を促すことはするが、強制はしない。

(石井委員) 保護者には、預けている間に勉強を教えてもらいたいという気持ちが強い方が多くいらっしゃる印象である。誤解されないためにも、入所時等にしっかり説明すべきである。

(井上子育て支援課長) 1年間入所される場合は、入所前に保護者説明会を開催し、アフタースクールでの生活のこと、宿題は促すが、子どもの意思を尊重すること、家庭ですべきことはアフタースクールがとって代わることはできないこと等を伝えている。しかし、宿題をして帰ってきてほしいという親の声はよく聞く。親の役割とアフタースクールの役割を伝えていく。

5 その他

次回教育委員会定例会の開催日時について

委員長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日時について諮り、平成29年5月19日、午後2時から開催することを決定した。

6 閉 会

委員長が、平成29年4月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。